

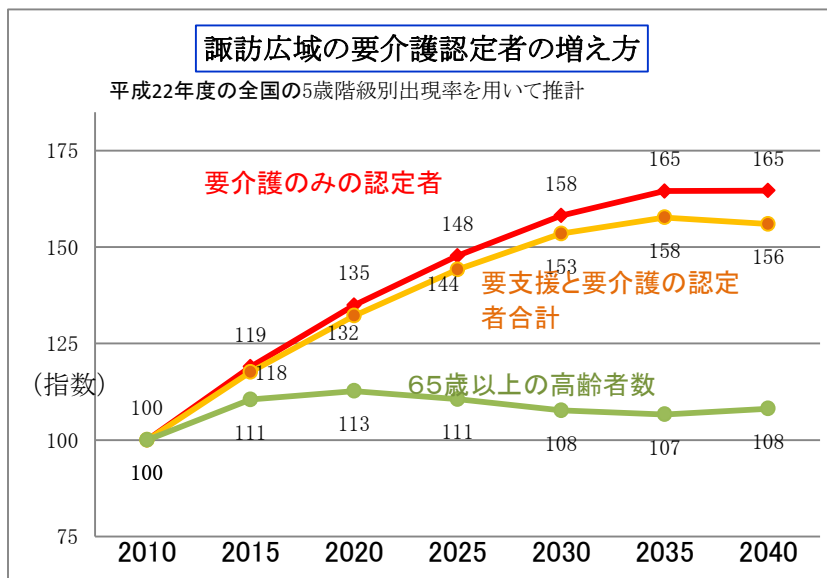
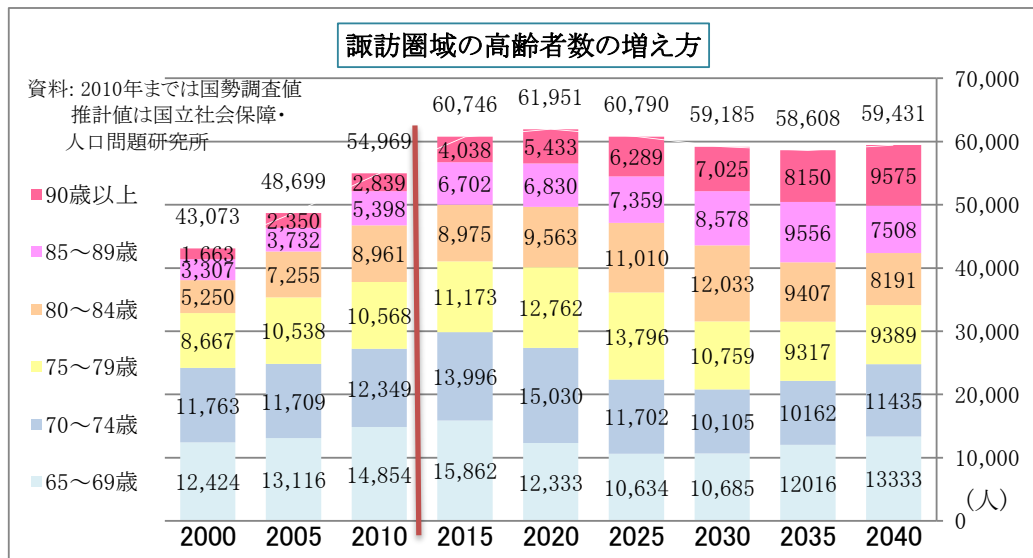
30年後までの要介護認定者数の推計 (諏訪広域)

人口減少にもかかわらず、出現率の高い80歳以上の高齢者の激増により、要介護認定者は激増

推計方法 各年の人口推計値をもとに、平成22年の全国の5歳階級別の出現率を算出して推計した。
「将来人口推計値」は、国立社会保障・人口問題研究所が平成25年に公表したのものを使用した。

- 留意点**
- * 90歳以上人口のなかでも高年齢者が増加することで、出現率は年々高くなっていく。
 - * 諏訪圏域の現在の出現率は全国平均より2%位低いが、2010年は実数でなく全国出現率を用いた認定者数をだし2040年までの指数を算出した。
 - * 高齢者数の増加は止まるが、出現率の高い85歳以上数が激増するため認定者は増え続ける。
 - * 全国・大都市圏・地方・長野県の推計値については「人口減少社会レポートNo.2」を参照のこと。

◇ 要支援・要介護認定者数の出現率				◇ 要介護のみ認定者数の出現率		
2010年10月	総人口	認定者数	出現率(%)	2010年10月	認定者数	出現率(%)
65～69	8,210,173	230,600	2.81	65～69	168,100	2.05
70～74	6,963,302	427,500	6.14	70～74	299,700	4.30
75～79	5,941,013	818,600	13.78	75～79	554,900	9.34
80～84	4,336,264	1,224,500	28.24	80～84	841,300	19.40
85～89	2,432,588	1,203,900	49.49	85～89	899,700	36.99
90歳以上	1,362,345	1,014,500	74.47	90歳以上	873,800	64.14

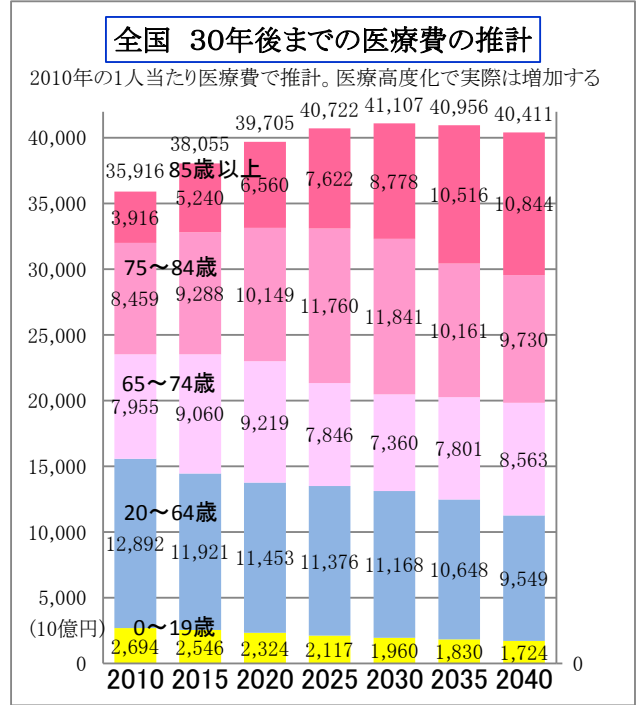
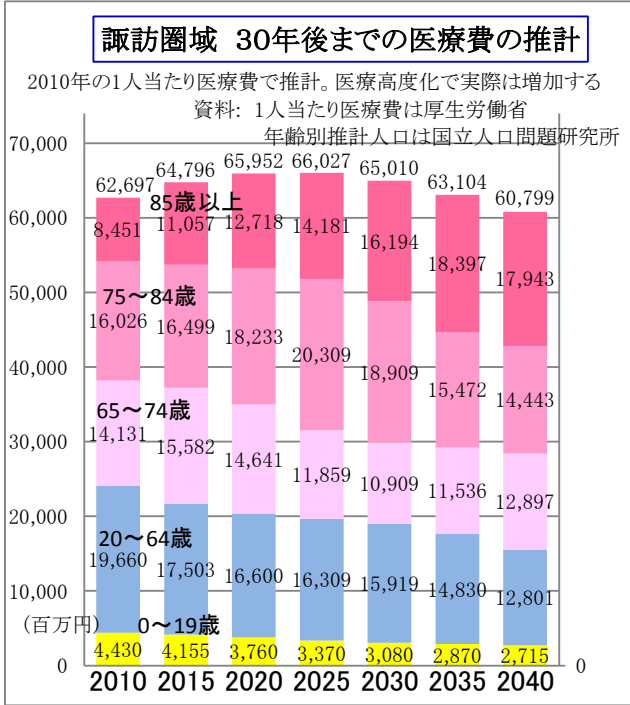


30年後までの医療費の推計 (諏訪広域)

人口は急減するが、医療費の必要な80歳以上の高齢者の激増により、医療費総額は増加する

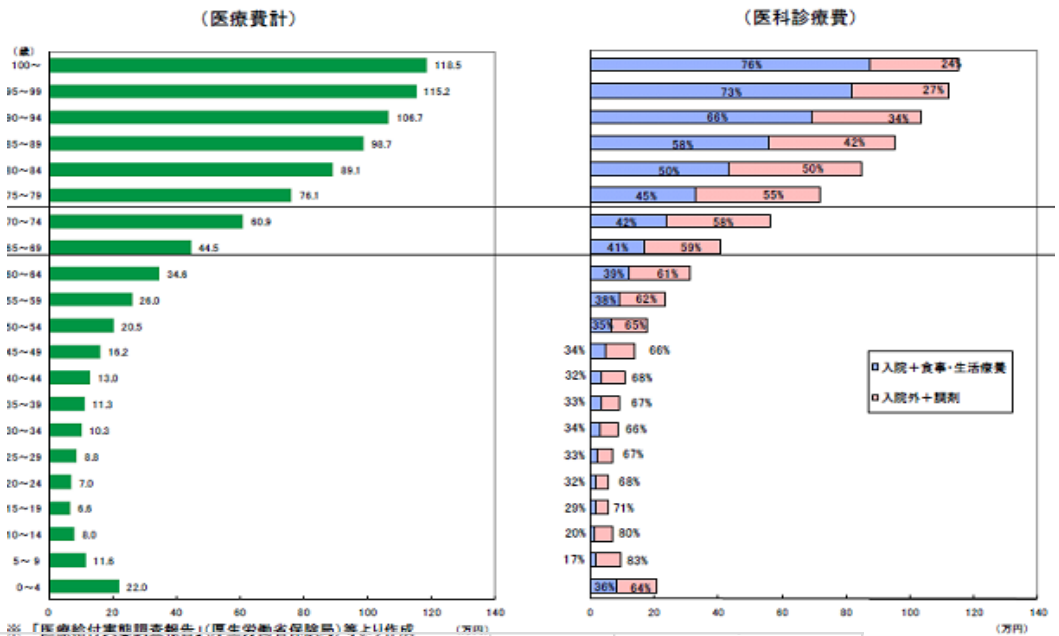
推計方法 各年の人口推計値をもとに、5歳階級1人当たり医療費(平成22年)を使い医療費を推計した。「将来人口推計値」は、国立社会保障・人口問題研究所が平成25年に公表したのものを使用した。「5歳階級1人当たり医療費」は厚生労働省が公表している下図のデータ。

留意点 * 1人当たり医療費は医療の高度化などによって、年々増加している(年1%位か?)。
* 諏訪圏域の人口減少や高齢化は全国平均より約10年先行しており、すすみ方も早い。



〔厚生労働省〕 年齢階級別1人当たり医療費(平成22年度)(医療保険制度分)

1人当たり医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、70歳代までは外来(入院外+調剤)の割合が高いが、80歳代になると入院(入院+食事療養)の割合が高くなる。



	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
諏訪広域							
入院関係推計値	26,999	28,586	29,703	30,316	30,421	29,996	29,144
指数	100	106	110	112	113	111	108

Ⅲ 諏訪圏域の30年後までの「超高齢化」と「人口減少」 「人口減少超高齢化社会」

1 生産年齢人口・若年人口の激減により 急激な人口減少がすすむ

- ◇ 生産年齢人口は人口減少以上に激減 2010年112,877人が30年後には72,913人へと35%減少
- ◇ 出生数と若年人口の減少 2010年37,029人が30年後には22,725人へと39%減少
- ◇ 人口のピークは2008年212,358人、2020年10%減191,011人、2040年155,069人へ27%減少
- ◇ 出生率が2.07に回復しなければ、いつまでも減少し続ける (減少社会レポートNo.1)
- ◇ 人口減少の原因は出生率低下の他に、出産年齢女性の減少と高卒後若者の大都市流出がある。
- ◇ 人口減少期に入っており、30年間の減少率は全国の16%に対し諏訪圏域は24.3%とかなり高率

2 生産年齢人口・若年人口が激減するなかで 高齢者人口の増加により超高齢化がすすむ

- ◇ 高齢者人口の増加、 2020年には13%増加し、その後は横ばい
特に85歳以上人口の激増 2010年8,237人が30年後には17,083人へと2.07倍に増加
- ◇ 要介護認定者の激増(減少社会レポートNo.2) 2010年8,377人が30年後13,055人へと1.56倍に増加
- ◇ 高齢者比率が激増して超高齢化社会が進行 2010年26.8%が30年後には高齢者比率38.3%に
- ◇ 高齢者人口とこれを支える生産年齢人口の比率が激変 2010年1人:2.1人、30年後1人:1.2人
お神輿型→ 騎馬戦型→ 肩車型

